

『住民目線』で厳しく審査！

9月定例会会期中の9月18日に、平成24年度決算について議員全員が委員となり審査を行いました。委員長に加瀬芳廣委員、副委員長に勝又一徳委員が選任されました。ここでは質疑の一部を要約してお伝えします。

一般会計・歳入

Q 所一重委員 ふるさと納税をさせていただくために、もっと努力や工夫が必要ではないか。

A 税務課長 制度の周知を目的として、町民税の申告に関する説明資料等に掲載することも、HPで周知を図っています。

Q 石渡悦子委員 (町税の滞納による) 差し押さえの件数を物件と給与それぞれに。また、公売に移したものの効果については。

A 税務課長 差し押さえは74件で、(内訳は) 預貯金等72件、不動産1件、給与1件です。また、換価状況では、動産4万7千円、預貯金278万7千円、給与230万7千円、賃料78万円で、合わせて592万2千円です。

Q 勝又一徳委員 HP 広告掲載料が27万6千円となっているが、掲載の推進及びPRはどのように行っているか。

A 企画財政課長 HPのバナー等を有する企業は月額4千円、町外の場合は月額5千円(それぞれ一枠あたり)となっています。現在、広報やHP等でPRを行っています。現在、今後は多古工業団地連絡協議会へ担当課を通じてお願いできればと考えています。

Q 椎名義光委員 がん検診者を増やすことで国保等の医療費が削減できると思うが、自己負担額は。

A 保健福祉課長 胃がん検診が1人あたり2千円、子宮がん検診が400円、肺がん検診400円、乳がん検診が500円です。

また、町外や県外へ広くPRできるように努力、工夫できないか。

A 産業経済課長 ガイドブックは2万部を印刷し、1部あたり850円です。各戸へ配布のほか、イベント等での活用や都内のレストラン及び県内の道の駅等でも配布しています。今後も広く活用していきたいと思っています。

Q 那須保秋委員 園芸振興対策事業は土壌消毒剤の補助等を行っているが、ナスやミツバといった施設園芸は燃料の高騰により非常に苦しんでいる。現場の農家の声を聞きながら、将来に夢をつなげるような使い方はできないか。

A 産業経済課長 重油に限らず燃料の高騰ということで、これが農家の経費の増大を含んでいる状況であるということは認識していますので、その辺についてはご理解をいただきたいと思っています。

Q 山口清委員 道の駅の出品者が、ライスセンターに設置された色彩選別機を利用することは可能か。

A 産業経済課長 農協で対応できるかどうかということ、そちらの運営方法にもよるので、私の方から(答弁)は遠慮させていただきたいと思っています。

一般会計・歳出

Q 菅澤環委員 デマンドタクシー 試行運行委託料が約146万円となっているが、料金の仕組みと1日あたりの台数は。

A 企画財政課長 現在試行中のデマンドタクシーは、24年度に契約を行った車両が1台で、1日あたりの委託料1万6860円に運行日数87日かけた金額となっています。



土・日・祝日運行 町内全域1乗車500円です (デマンドタクシー)

Q 鎌形邦雄委員 赤池の周辺では、鹿島港線の整備を行っていると思うが、進捗状況と今後の計画は。

A 都市整備課長 赤池十字路から香取市側と成田市側に向けての路線を整備する予定で、交差点部分及び歩道の整備を要望しています。十倉三地先は流末がなく、排水が悪いので、非常に冠水しやすい地域ですので、これを何とかしたいということ、県に強く要望しています。そのような中で、最終的に3カ所程度調整池(浸透式)を作り、本年度は測量や設計等を行う予定であると聞いています。

特別会計

学校給食センター

Q 菅澤昌則委員 過去5年分の給食費滞納状況は。

A 学校給食センター所長 直近では、21年度が29万4357円、22年度55万5709円、23年度85万5618円、24年度69万1606円で、総合計288万3751円となっています。

Q 椎名義光委員 町内材料の使用割合を増やすことが必要であり、町内の業者というだけでなく、町内の品物を使うというのが一番大事かと思うが、その点の考えは。



加瀬芳廣決算審査特別委員長

Q 石渡悦子委員 (災害時を考へ) 各地域の共同利用施設や集会所等を利用し、防災備品を備蓄していくことが必要と考えるが。

A 総務課長 防災の基本姿勢は自助(自分の命は自分で守る)であり、町から各家庭に1週間分の備蓄をお願いしています。(災害時には)それらを集会所等へ持ち寄っていただくことで、一時的な対応が出来ると思われれます。町ではそれらに不足するものを備え、自助公助の連携を図り防災力を高めていきたいと考えています。

Q 菅澤環委員 保育所の臨時職員賃金が前年度より500万円増えている要因は。

A 子育て支援課長 ゼロ・1歳児の増加に伴う職員増による増額です。また、こども園の開園に伴

A 学校給食センター所長 本町では、地元産品の使用率が14.4%で、地元産品の使用率は23.2%です。食材の仕入れ方法については、各業者から見積もりを取り、安いものを使用しています。

水道事業会計

Q 菅澤昌則委員 昨年、(老朽管の布設替え工事が)終了したと聞いたが、先日漏水した地区があったのはなぜか。

A 生活環境課長 終了したというのは、石綿管工事の完了だと思えます。現在漏水が起こっているのは昭和57年当時の塩ビ管で、そこから亀裂が生じ漏水事故が起こっています。



おいしく楽しい情報満載! 『多古発見マガジン』

Q 所一重委員 観光ガイドブック作成費が1700万円となっているが、1部あたりの金額は。

Q 勝又一徳委員 子宮頸がんワクチンは副反応により、現在は接種を推奨しないとされているが、その影響による接種者の状況は。

A 保健福祉課長 24年度から定期接種となった子宮頸がんワクチンは、補助の対象となるのが小学校6年生から高校1年生までで、(保護者としては)様子を見てという状況なのかと思います。補助の年齢幅が広いので、控えるようなところはあるかも知れません。



元気いっぱいの子どもたち (中央保育所)